



報

鳩通信 No.313

2025年1月号

三鷹労働基準協会支部

立川市曙町1-21-1 いちご立川ビル2階

電話: 042-512-5435

<https://www.toukiren.or.jp/shibu/mitaka>

迎春

今年もよろしくお祝い申し上げます

令和7年 元旦

支部長

朝長 正隆

横河電機株式会社
執行役員 人財総務本部長

副支部長

宮沢 恒行

住友重機械工業株式会社
田無製造所 所長

副支部長

鳩貝 敦之

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
SCM本部製造統括部 多摩・海老名工場統括部 多摩工場 工場長

副支部長

東出 隼洋

株式会社東急百貨店
吉祥寺店 店長

他役員・事務局職員一同

三鷹労働基準監督署職員一同



目次

謹賀新年	1	令和6年度 年末年始災害防止大会の開催	4
新年の御挨拶		令和6年度 年末年始無災害運動実施要領	5
(公社)東基連三鷹労働基準協会支部 支部長 朝長 正隆	2	労働災害発生状況	6
新年の御挨拶		行事予定	8
三鷹労働基準監督署長 後藤 克巳	3		

新年の御挨拶



(公社) 東基連三鷹労働基準協会支部
支部長 朝長 正隆

明けましておめでとうございます。

昨年は、パリオリンピック・パラリンピックが開催され、過去最多となる数のメダルを獲得するなど多くの日本人が活躍されました。連日、熱い戦いが繰り広げられたこともあり、リアルタイムで見るために寝不足になってしまった方々も大勢おられたのではないのでしょうか。また、経済面においても観光などを目的として訪日される外国の方々が大幅に増え、各地の観光名所や名産、日本文化などを楽しまれたとの報道もありました。今後も引き続き高いインバウンドが期待できるとの情報もあるなど、明るいニュースを多く目にしました。

その一方で、昨年、年明け早々には能登半島地震が起き、甚大な被害が出てしまいました。被災された皆様、また、ご家族・関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。弊社の事業所が少し離れた金沢市にありますが、そこでも天井の一部が落下するといった影響がありましたので、いかに大きな地震であり、大変な事態であったかをより実感しました。その後に発生した洪水被害の影響もあり未だに復旧活動が続けられ、現在も避難生活を送られている方々がおられるため、一日も早い復興をお祈りいたします。

他の地域においても一昨年同様、線状降水帯の発生により洪水や土砂崩れといった自然災害が起きてしまいました。これまで経験をしたことがない現象であり、災害を予見することは非常に難しいことですが、それだけに常日頃からあらゆる災害に対し、準備をしておくことの重要性を強く認識しました。

会社にとって社員の安全と健康は何よりも大切なことですので、これまで取り組んできた防災対策が本当に十分なものであるのかどうかをあらためて点検し、よりしっかりとした対策を取っていかねばならないと考えています。

会員の皆様、事務局の皆様におかれましても、予見が難しい災害に対する備えをどうしていけば良いのかというのは共通の課題ではないかと思えます。当会では、今年度も引き続き、皆様に必要な情報をご提供していくとともに、会員同士の交流を深め、連携を密にしながら労働災害防止、健康確保対策などに取り組んでまいります。

結びとなりますが、会員各社様の益々のご繁栄、ご発展を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

新年の御挨拶



三鷹労働基準監督署
署長 後藤 克巳

令和7年新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年中は、公益社団法人東京労働基準協会連合会三鷹労働基準協会支部及び会員の皆様には、三鷹労働基準監督署の業務に格別の御理解、御協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

昨年は、時間外労働上限規制の適用開始業務等の事業場に対し長時間労働の抑制に向けた自主的な取組の促進や適切な労務管理の導入に向けた支援を行い、業界の取引慣行等、個々の事業主の努力だけでは見直すことのできない事情を要因とする長時間労働が認められることから、取引環境を含む業界全体としての法令の趣旨・内容の理解促進を図ってまいりました。

また、経済回復による人手不足が深刻な状況や物価高騰に負けない継続的な賃上げが必要な状況が続いております。

このような状況下においてこそ、誰もが活躍できる「一億総活躍社会」を実現するため、長時間労働の抑制、同一労働同一賃金等の雇用形態に関わらない公正な待遇の確保に向けて「働き方改革」を継続して推進する必要があります。

本年、三鷹労働基準監督署では管内の事業場で働く方々が安心して安全に働くことができるように職員が一丸となって、次の施策を中心に取り組んでまいります。

- 働きやすい職場環境を実現するため、長時間労働の是正及び過重労働による健康障害防止に向けた監督指導の徹底
- 大量整理解雇等のおそれのある事業場を把握した場合、雇用維持に努めて、関係法令が遵守されるような啓発活動の実施
- 安全衛生対策について、製造業、建設業、道路貨物運送業、保健衛生業を中心とした産業に対する労働災害防止の取組を一層進めるとともに、増加する高齢者の労働災害防止のための取組の推進
- 労働保険制度の適正な運営、迅速な労災保険給付のための事務処理の徹底
- 事業場内最低賃金の引上げを図る中小企業・小規模事業場を支援する業務改善助成金の周知
- パート・有期法に基づく同一労働同一賃金をはじめとした非正規労働者と正規労働者との不合理な待遇差禁止の周知

こうした施策の推進には、会員の皆様方のご協力が不可欠でございます。

皆様のご期待に応えられるよう積極的に取り組む所存ですので、引き続き貴会及び会員の皆様方のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴会及び会員の皆様方の今後の益々のご発展とご健勝を祈念致しまして、簡単ではございますが、新年の挨拶とさせていただきます。

令和6年度年末年始災害防止大会の開催

令和6年12月3日（火）午後2時より武蔵野スイングホールにおいて、令和6年度年末年始災害防止大会が開催されました。

第一部では、安全衛生管理優良事業場に対する表彰式が行われ、三鷹労働基準監督署長、（公社）東基連三鷹労働基準協会支部長より表彰状及び無災害記録証が授与されました。



後藤署長



朝長支部長



建災防 安藤北多摩分会副会長

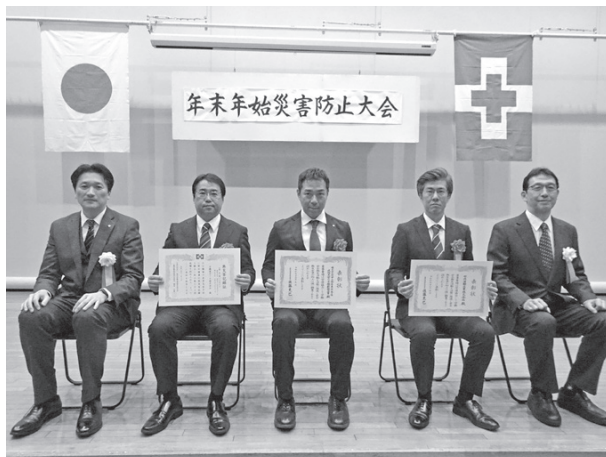
令和6年度 安全衛生表彰受賞事業場

三鷹労働基準監督署長表彰

- ◇竹内運輸工業(株) 殿
- ◇(株)竹中工務店 東京本店
- 成蹊大学11号館新築工事 殿

無災害記録証

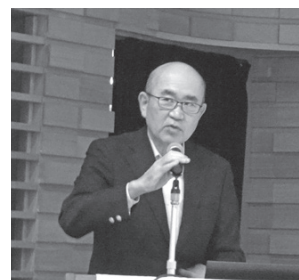
- ◇日機装サーモ株式会社 殿
- ◇ノーブル無線株式会社 殿
- ◇有限会社古川商事運輸 殿
- ◇株式会社共和電業 殿



受賞事業場の皆さまおめでとうございます。

第二部では、三鷹労働基準監督署常盤監督官から「年末年始無災害運動実施要領等」について説明がありました。

また、「リスクアセスメント 取り組みのすゝめ」と題して、中央労働災害防止協会 技術支援部の山田氏より講演が行われました。



山田氏

令和6年度 年末年始無災害運動実施要領

1 趣 旨

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるよう、事業場等の取り組み促進を図る趣旨で、昭和46年から厚生労働省の後援のもと中央労働災害防止協会が主唱する運動で、本年度で54回目を迎える。

職場の安全と健康を確保するためには、経営者、労働者が一丸となって安全衛生活動を推進し、災害のない職場環境を整えるためにも、一つひとつの作業を丁寧に確認し、次の作業に備えること、そして体調管理を万全にし、無理をしないことが大切である。

令和5年の労働災害による死亡者数は755人と過去最少だったものの、休業4日以上死傷者数は135,371人となり、3年連続で増加となった。そのうち60歳以上の高齢者の割合は29.3%となっており依然として増加傾向にある。

また本年8月末までの労働災害発生状況（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）をみても、前年同期に比べて休業4日以上死傷者数は、全体で1.5%増加しており、業種別では陸上貨物運送事業で1.8%、第三次産業で3.0%の増加、事故の型別では「転倒」で0.9%、「動作の反動・無理な動作」で2.4%増加している。

こうした状況の中で、特に年末年始は大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなるほか、物流等の増加に伴う交通・荷役作業時の災害、積雪や凍結による転倒等の危険が増す。また、多忙による焦りや疲労からミスやエラーが起こりやすくなる。そのため各事業場においては、非正常作業における安全確認の徹底、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、安全衛生保護具の点検の実施が一層重要となる。また転倒・腰痛災害予防のため、身体機能の維持向上のための取り組みや、感染症予防を含めた労働者の健康管理にも全員で取り組むことが大切である。

自身の安全・健康の確保はもちろん、周囲の仲間とも声を掛け合って、皆で力を合わせて無事に一年を締めくくり、明るい新年を笑顔で迎えられるよう、本年度の年末年始無災害運動を展開する。

2 実施期間

令和6年12月1日から令和7年1月15日までとする。

3 運動標語

「今年もやります！ 基本作業の徹底 年末年始も無災害」

4 主唱者

中央労働災害防止協会

5 後援

厚生労働省

6 実施者

各事業場

7 主唱者の実施事項

- ① 機関誌、ホームページ等を通じての広報
- ② 報道機関等を通じての周知
- ③ リーフレット等の制作および配布
- ④ 小冊子、ポスター、のぼり、デジタルコンテンツ等の頒布・配信

8 事業場の実施事項

(1) 年末年始に実施する事項

- ① 経営トップによる安全衛生方針の決意表明
- ② 安全衛生パトロールの実施
- ③ 機械設備に係る一斉検査および作業前点検の実施
- ④ 年末時期の大掃除等を契機とした5Sの徹底、掲示や旗の掲げ替え
- ⑤ 年始時期の作業再開時の安全確認の徹底
- ⑥ 年末年始無災害運動用ポスター、のぼり等の掲示

(2) 年末年始に実施状況を確認する事項

- ① KY（危険予知）活動を活用した非正常作業における労働災害防止対策の徹底
- ② 安全保護具・労働衛生保護具、安全標識・表示等の点検と整備・更新
- ③ 化学物質のリスクアセスメントの実施を含めた化学物質管理の徹底
- ④ 転倒、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ災害防止や腰痛予防対策の徹底
- ⑤ 火気の点検、確認など火気管理の徹底
- ⑥ 交通労働災害防止対策の推進
- ⑦ 過重労働をしない・させない職場環境づくり
- ⑧ 高齢労働者を含めた身体機能の維持向上のための健康づくり、健康的な生活習慣（睡眠、食事、運動等）に関する健康指導などの実施
- ⑨ 感染症拡大防止対策の徹底
- ⑩ 職場のハラスメント防止につながる取り組みの推進
- ⑪ 自然災害等に伴う復旧・復興工事等における労働災害防止対策の推進
- ⑫ 安全衛生旗の掲揚、その他安全衛生意識高揚のための活動の実施

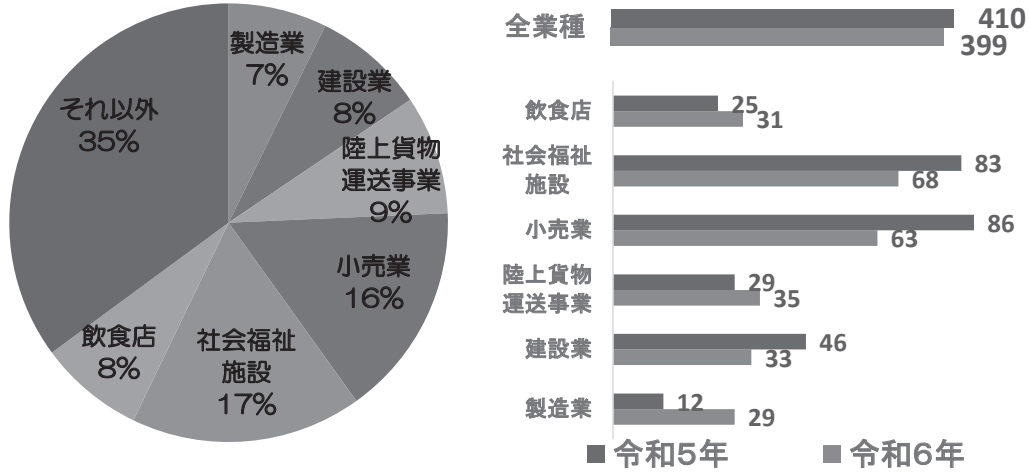
賛助会員募集中

特典

- 研修会が会員価格に
- 定期刊行物の配布
- 安全週間時などにポスター等をお届け
- 会員専用サイトによる安全衛生情報の発信

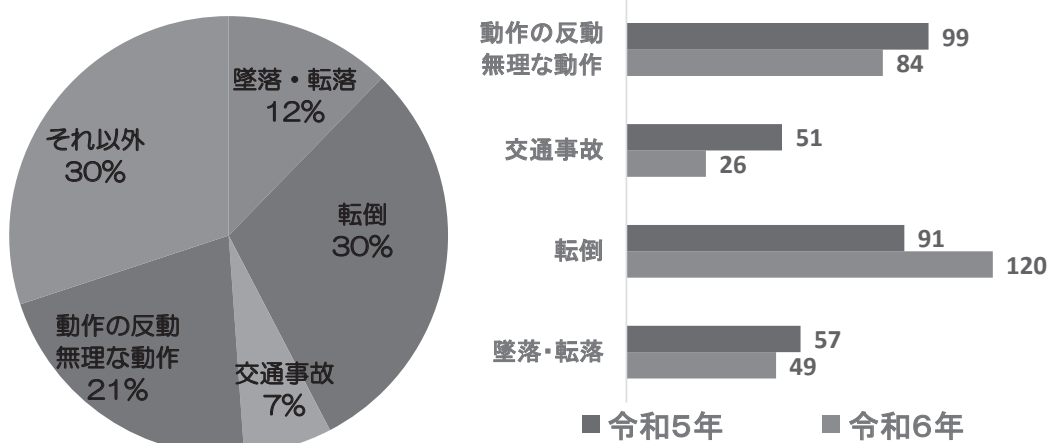
令和6年 三鷹労働基準監督署 労働災害発生状況（令和6年10月末日現在）

1. 業種別



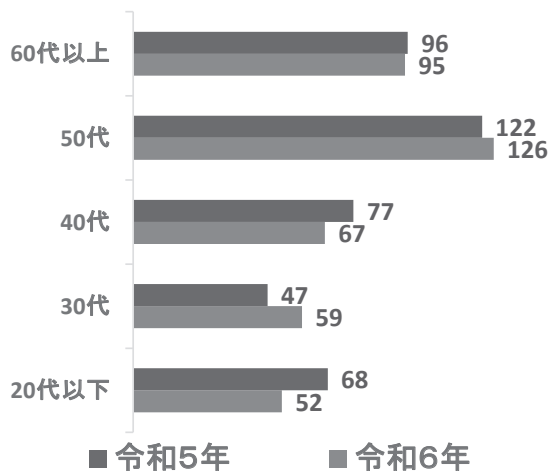
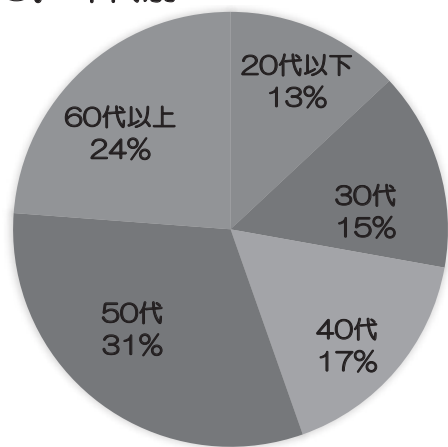
- ・労働災害発生件数は399件で、前年同期に比べ11件減少しています。
- ・死亡災害は2件発生しています（製造業1件、陸上貨物運送事業1件）。
- ・業種別では社会福祉施設が68件で最も多く発生していますが、前年同期に比べ15件減少しています。
- ・製造業は全体に占める割合は少ないですが、前年同期に比べ大幅に増加しています。

2. 事故の型別



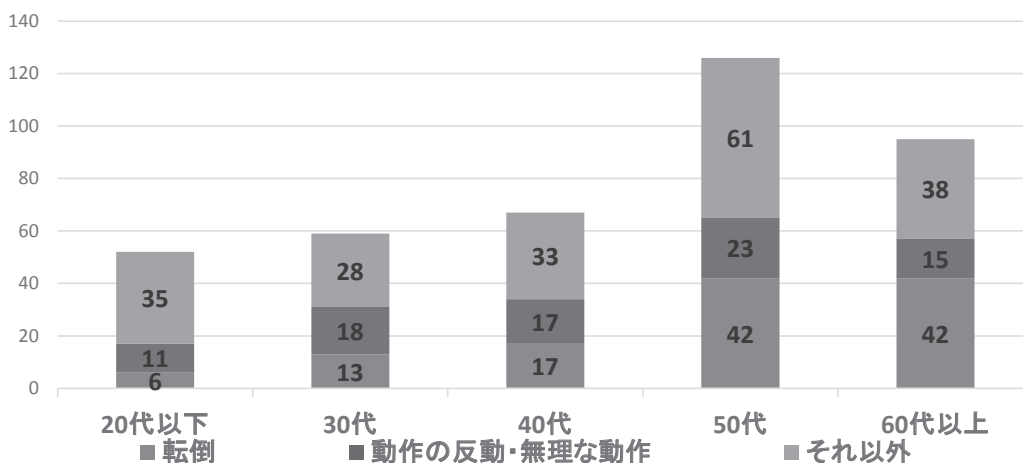
- ・転倒が120件で最も多く発生しています。次いで動作の反動・無理な動作が84件となっています。この2つ（行動災害）で全体の半数以上を占めています。
- ・転倒は、前年同期に比べ29件増加しています。

3. 年代別



- 50代が126件で最も多く発生しています。
- 30代と50代は、前年同期に比べ増加しています。

4. 年代別・事故の型別



- 転倒は、50代以上で多く発生しています（全120件中84件）。
- 60代以上では、60%が行動災害になっています。

5. 死亡災害事例

No.	発生月	業種	事故の型	概要
1	5月	道路貨物運送業	墜落・転落	バン型のトラックの荷台から荷降ろし作業をしていたところ、荷台後方から後ろ向きに墜落し、頭部を強打した。
2	8月	製造業	交通事故	高速道路を乗用車で移動中に工事渋滞に遭い、ハザードランプを点滅させて停車していたところ、後方から走行してきた乗用車に追突された。

行事予定

■ 令和7年新年賀詞交歓会

1月9日(木)
吉祥寺 東急REIホテル

■ 化学物質管理強調月間セミナー

1月27日(月)
八王子市学園都市センター

■ 有機溶剤作業主任者技能講習

2月18日(火)・19日(水)
東基連たま研修センター

■ 酸素欠乏・硫化水素 危険作業主任者技能講習

学科：2月4日(火)・5日(水)
東基連たま研修センター
実技：2月6日(木)又は7日(金)
東基連たま研修センター

■ 特定化学物質及び四アルキル鉛等 作業主任者技能講習

2月12日(水)・13日(木)
東基連たま研修センター



■ 職長及び安全衛生責任者教育

2月26日(水)・27日(木)
東基連たま研修センター

■ 安全衛生推進者養成講習

3月11日(火)・12日(水)
東基連たま研修センター

■ 雇入れ時安全衛生教育

4月10日(木)
東基連たま研修センター

(公社)東基連三鷹労働基準協会支部

各種講習会のお知らせや
会報もHPにて閲覧できます。
こちらもよろしくお願いたします！



www.toukiren.or.jp/shibu/mitaka/

